

## 55. 冠飾句と分詞構文

### 1. 副詞をともなう形容詞

形容詞が述語として用いられる場合あるいは付加語として名詞を修飾する場合には、副詞をともなうことがあります。

Sein älterer Bruder ist sehr groß.	「彼の兄はすごく背が高い」 <i>His elder brother is very tall.</i>
der sehr hohe Berg	「非常に高い山」 <i>the very high mountain</i>
sehr は英語の <i>very</i> にあたる副詞で、形容詞の「背が高い」や「高い」を修飾しています。	
ein schrecklich teu[e]res Buch	「おそろしく高価な本」 <i>a really expensive book</i>

この *schrecklich* は本来「おそろしい」という形容詞であって、ドイツ語では形容詞はそのまま副詞としても用いられるため、ここでも「おそろしく」という副詞として次の *teuer* 「高価な」という形容詞を修飾しています。これをそのまま形容詞と誤解して「おそろしい高価な本」としてはなりません。もし形容詞として「本」を修飾するのであれば以下の例のように *schreckliches* となって形容詞の格語尾がつくはずだからです。

ein schreckliches, teu[e]res Buch	「恐ろしい、高価な本」
-----------------------------------	-------------

### 2. 冠飾句

さらに形容詞だけではなく、現在分詞や過去分詞をともなって、冠詞と名詞のあいだにおかれる修飾要素をさらに発展させたものもあり、このようなものを冠飾句といいます。

以下の例のように冠詞や冠詞類の直後に形容詞や分詞類がない場合は、冠飾句の可能性を考える必要があります。

Er ist ein <u>20 Jahre</u> alter Mann.	「彼は20歳の男だ」 <i>He is a 20 years old man.</i>
--	--

英語では *20 years* という副詞句が、そのあとの *old* という形容詞と一体化していると見なされる場合は冠詞と形容詞のあいだにおかれることがあります。ドイツ語ではそうした場合でなくても冠詞と形容詞や分詞の間に副詞句や前置詞句が挿入されることがしばしば見られます。

das <u>in dem Garten</u> spielende Kind	「その庭のなかで遊んでいるこども」 <i>the child playing in the garden</i>
ein <u>aus der Zeitung</u> geschnittenes Foto	「新聞から切り抜かれた写真」 <i>a photo cut from the newspaper</i>

英語の例をみてわかるように英語ではこのような修飾要素は名詞のうしろにおかれることが普通であり、関係文で書き換えることも可能です。それにたいしてドイツ語は冠詞や形容詞、名詞の格変化がはっ

きりしているため、冠飾句による表現がおおく用いられます。特に学術論文や報道文には多用されますが、日常会話ではほとんど用いられません。

Er hat die für diesen Posten erforderliche Praxis.

「彼はこの地位には必要な実務経験がある」

Der Mann öffnete das auf dem Tisch liegende Buch.

「その男はテーブルの上にある本を開いた」

Ich habe einen kleinen, auf der Straße weinenden Jungen gefunden.

「私は道の上で泣いている小さな少年を見つけた」

Sie hat ein ihr sehr wenig passendes Kleid an.

「彼女は、彼女にはちっとも似合わない服を着ている」

Der sehr schön geschmückte Weihnachtsbaum stand mitten im Wohnzimmer.

「すごくきれいに飾られたクリスマスツリーがその居間のまんなかに立っていた」

Wir besuchten die Stadt München am den ganzen Tag heftig geschneiten Abend.

「われわれはミュンヘン市を一日中激しく雪の降った夜に訪問した」

Er war ein berühmter, damals wegen seiner Talente sehr geschätzter Mann.

「彼はその頃はその才能のために非常に尊敬された有名人であった」

### 3. 分詞構文

ドイツ語では分詞構文は英語ほどにはもちいられません。分詞構文は、接続詞や主語、さらに時や態の助動詞を省略して簡潔に文章をあらわす語法ですが、それらを省略することによって簡潔さとひきかえに論理的明晰さを犠牲にするため、文章の構造がわかりにくくなるという点がドイツ語ではおおきな欠点とみなされるからです。

分詞構文では原則として、その主語は主文の主語と一致しなくてはなりません。また、その表す内容は省略されている接続詞により、時・理由・条件などの意味を付加して考えることになります。

またドイツ語の分詞構文では、分詞はその分詞構文の末尾におかれることが多いのですが、英語と同様に分詞構文の先頭におかれることもあります。

Über Land mit dem Auto fahrend, haben wir die schöne Landschaft genossen.

「田舎を車でドライブしながら、われわれは美しい風景を楽しんだ」

Ihre Hand erfassend, führte er sie zur Bank.

「彼女の手を取って、彼は彼女をベンチへ連れて行った」

Nach Haus zurückgekommen, hat er ein Glas Wasser getrunken.

「家に帰ると、彼はコップ一杯の水を飲んだ」

Von seinen Kindern gelacht, musste er noch einmal das Lied singen.

「子供たちに笑われて、彼はもう一度その歌を歌わなくてはならなかった」

Gesessen vor dem Computer, schrieb ich sofort eine lange E-Mail an meine Freundin.

「コンピュータの前に座るやいなや、私はガールフレンドに長い電子メールを書いた」